

学位申請の手引き



福島県立医科大学大学院医学研究科

令和2年7月改正版

目次

I 博士課程修了予定者の学位授与申請手続

課程博士

1. 申請資格…………… 1
2. 大学院在学3年での修了要件…………… 2
3. 学位申請・授与の流れ…………… 3
4. 学位授与申請…………… 4

II 論文博士の学位授与申請手続

論文博士

1. 申請資格…………… 5
2. 学位申請・授与の流れ…………… 6
3. 外国語試験…………… 7
4. 学位授与申請…………… 8

III 学位論文審査会の方法…………… 9

IV 学位授与…………… 9

V 学位論文の公表…………… 10

VI 文作成及び提出書類記入上の注意事項…………… 10

VII 記載方法等…………… 11

I 博士課程修了予定者の学位授与申請手続

課程博士

1 申請資格

大学院医学研究科（以下「本研究科」という。）博士課程を修了するためには、本研究科に4年以上（ただし、優れた研究業績を上げた者又は在学期間の短縮が認められた者については3年以上）在学し、所定の単位を修得したうえで学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。

（大学院学則第13条第3項）

本研究科学生で、次の要件を満たす者は学位を申請することができる。

- ① 本研究科に3年以上在学し、修了までに所定の単位を修得し得る者
ただし、優れた研究業績を上げた者については、本研究科に2年6か月以上在学し、3年修了までに所定の単位を修得し得る者
- ② 本研究科に4年以上在学して、所定の単位を修得し、引き続き在学中（再入学者を含む。）の者

※所定の単位について

共通基盤教育科目(2科目)	高度医学研究者コース選択者は医学研究概論必修 専門医研究者コース選択者は総合人間学特論必修	2単位
発展分野教育科目①(5科目)	各分野の医学特論演習の中から5科目 (3科目以上は自分の専門分野以外から選択しなければならない。)	10単位
発展分野教育科目② (大学院セミナー)	・デスクネットの「大学院セミナー予定表」に掲載されているセミナーを1年次から4年次の間に20回聴講し履修する。(履修票20枚) ・サマーポスターセッションで発表を行う。 (履修票1枚) ・合計21枚の履修票を提出し、単位取得となる。	2単位

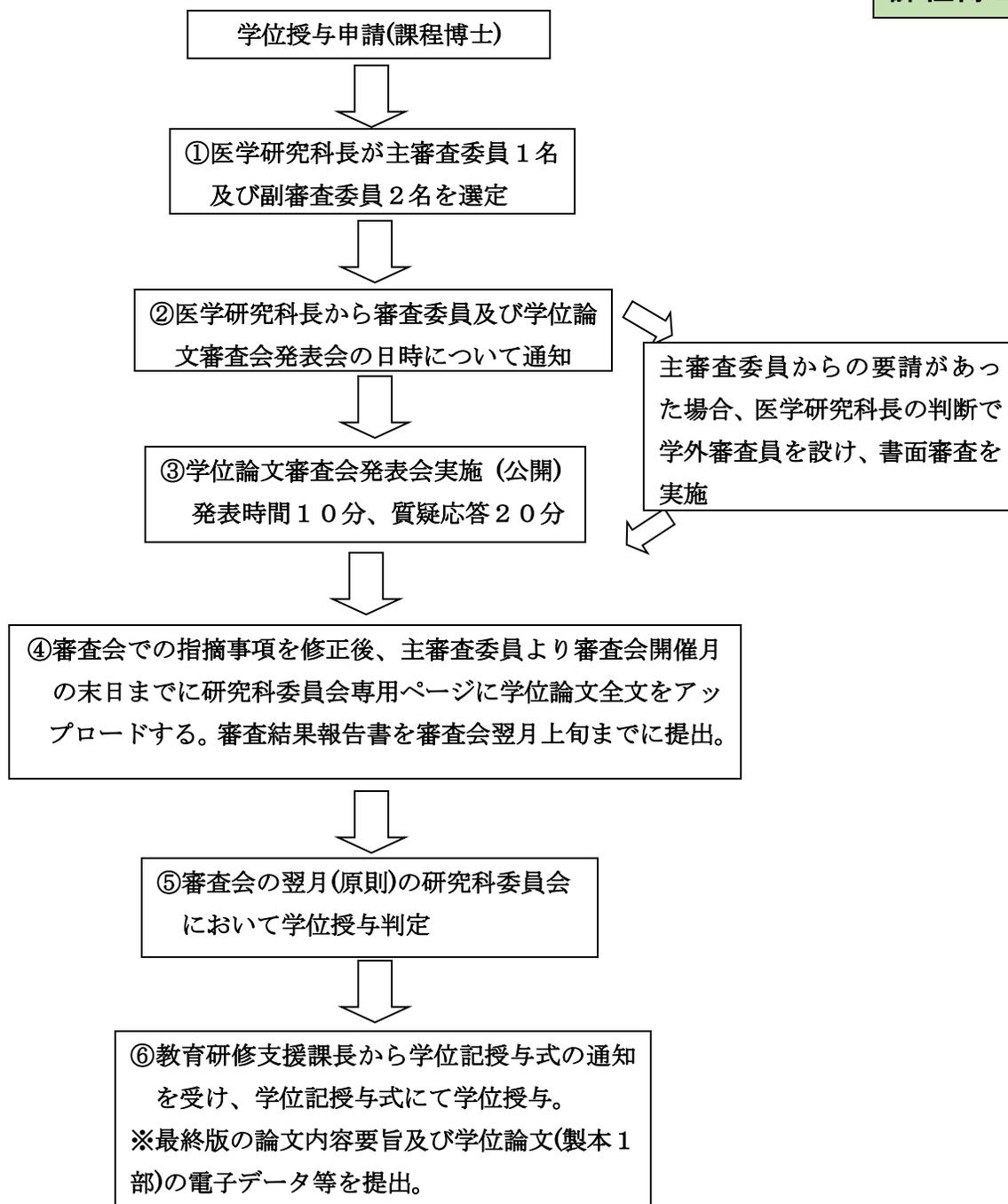
専門分野教育科目12単位(医学特論4単位、医学特別研究演習8単位)及び特別研究4単位については学位授与結果報告書にて学位授与に値すると報告された際に照会を実施するため、所定の単位には含まれない。なお、単位の取得状況についてはFMUPASSPORTの成績照会から確認すること。

2 大学院在学3年での修了要件

福島県立医科大学学位規程第3条第1項ただし書き中「優れた研究業績を上げた者」とは下記の条件を全て満たすものとする。

- (1) 専攻する主指導教員および副指導教員の推薦があること。
- (2) 言語の種類は問わないが、筆頭著者である論文が申請時に学術雑誌に受理されている原著論文が1編以上あること。なお、大学院在学以前に発表された論文でも、研究テーマに関連した論文であれば含めることができる。
- (3) 筆頭著者として出版した論文を掲載した雑誌は、査読を有する、当該分野において国際的に一定の信頼を得ている学術雑誌であること。
- (4) 学位論文は、主要国際誌に掲載済み又は、アクセプトされていること。
主要国際誌とは、最新のインパクトファクターが概ね3.0以上であること。
なお、証明できる書類を添付し、審査は本研究科委員会・運営検討委員会で行う。
- (5) 学位申請までに所定の単位をA又はB評価で修得済であること。
- (6) 本研究科の在籍期間中に休学をしていない者。ただし、病気、出産、育児による休学を除く。

3 学位申請・授与の流れ



※申請時期により、学位は9月と3月に授与されます。
学位授与申請締切日程は、その都度通知されます。

4 学位授与申請

学位を取得する者は、本研究科長に学位論文を提出し、審査を受けることができる。該当者は、次の事項に留意のうえ手続きをとること。

(1) 申請の時期

随時（9月授与の場合5月、3月授与の場合11月を提出期限予定としている。詳細はホームページを確認のこと。）

(2) 申請先

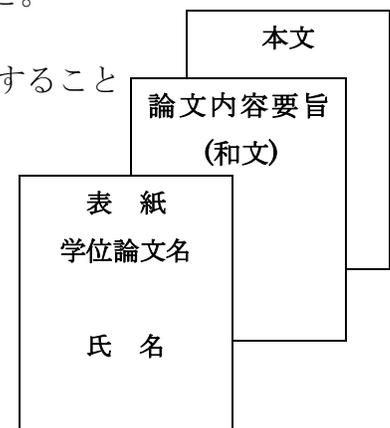
主指導教員を経て本研究科長あて提出すること。教育研修支援課で受付ける。受付の際、提出書類を確認し、不備があればその場で補正等を願うので必ず本人が持参すること。

(3) 提出書類

申請に必要な書類は次のとおりである。所定様式については、手引きの様式を参照。VI論文作成及び提出書類記入上の注意事項を熟読の上作成すること。

- ①学位審査申請書（様式参照）【1部】
- ②学位論文【5部】（指導教授の事前指導を受けてから提出すること）
- ③参考論文【5部】
課程博士の場合、必須ではない。
- ④履歴書【5部】
- ⑤論文目録【5部】
- ⑥論文内容要旨【5部】
- ⑦参考資料（手引きの様式参照）【5部】
- ⑧戸籍抄本【1通】
- ⑨研究協力者の同意書【各1部】
- ⑩博士論文のインターネット公表（リポジトリ登録）確認書【1通】

全文公表不可の場合には、学位論文要約公開申請書



Ⅱ 論文博士の学位授与申請手続

論文博士

1 申請資格

本学大学院修了予定者以外の者で、本研究科に論文を提出し、博士の学位を取得しようとする場合、学位授与の時期から遡って1年間は継続して本学に籍を有することに加え、次の要件のいずれかを満たしていなければならない。

- ① 大学において、医学の課程を修了した者で、基礎医学5年以上、臨床医学6年以上の研究歴を有する者、ただし、その両方にまたがる場合は、通算して5年6か月以上の研究歴を有する者
- ② 医師法第16条の2第1項に基づく臨床研修を行った者は、臨床医学において5年以上の研究歴を有する者（ただし、「臨床研修」の期間は平成7年4月から行う者から適用する。）
- ③ 専門学校において、医学の課程を修了した者で、前述①の各期間にそれぞれ2年を加えた研究歴を有する者
- ④ 医学の課程を経ない者については、次のいずれかに該当する医学研究歴を有し、かつ本研究科委員会の承認を得た者
 - ア 大学（歯学部・薬学部6年制・獣医学部6年制）卒業生 基礎・・・5年以上
臨床・・・7年以上
 - イ 大学院博士課程修了者・・・5年以上
 - ウ 大学院修士課程修了者・・・8年以上
 - エ 大学卒業生・・・10年以上
 - オ 専門学校及び短期大学卒業生・・・13年以上
 - カ アからオのいずれにも該当しない者・・・16年以上

(注) 学位授与月末日までに医学研究歴の年数を満たされる者も申請できる。

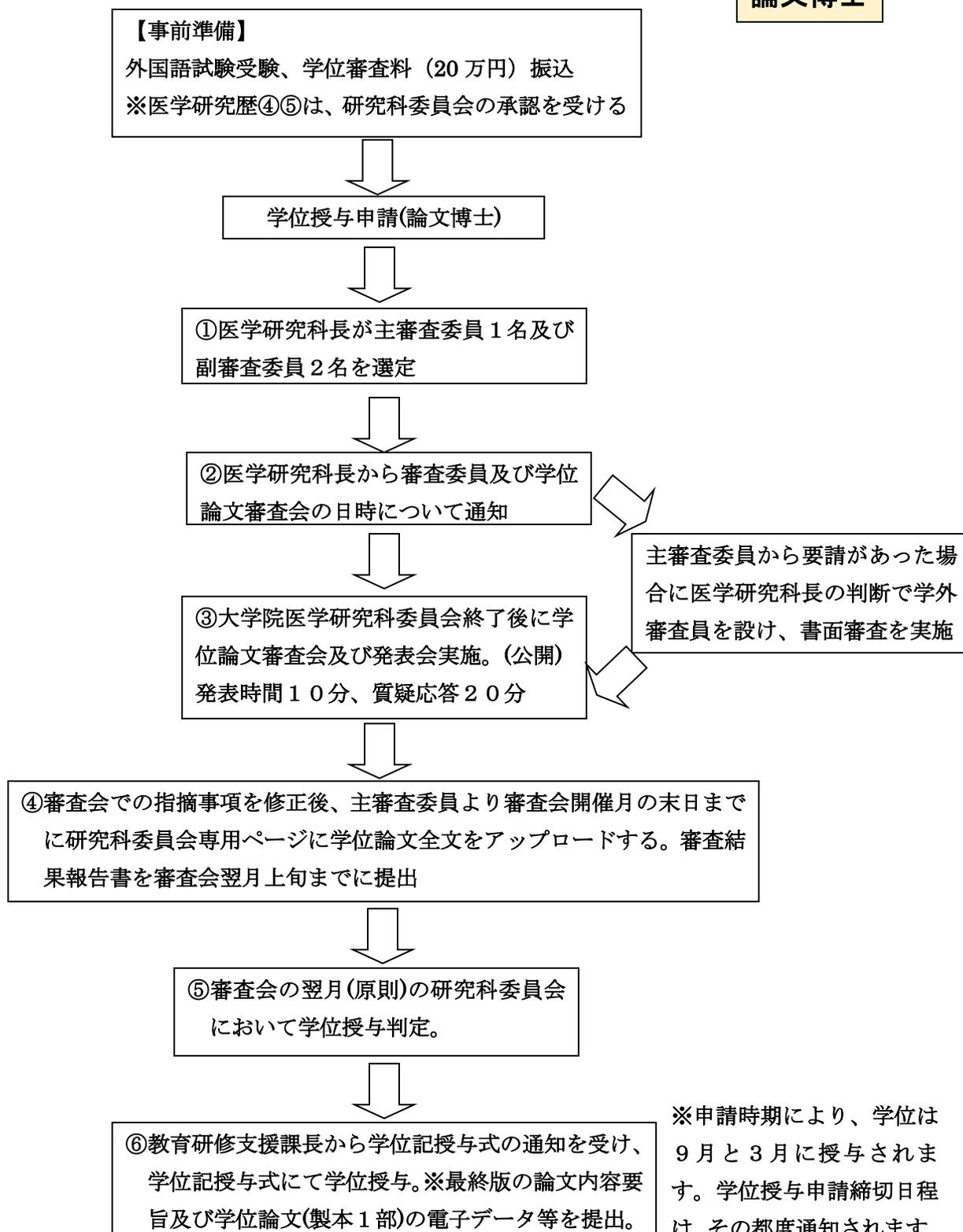
医学研究歴

医学研究歴は、次のいずれかに該当するものとするが、疑義のある場合には教育研修支援課に相談のこと。④、⑤については学位申請前に本学研究科委員会で承認を得ること。

- ① 大学の専任職員として研究に従事した期間（本学病院助手の期間を含む。）
助手に関しては総務課人事担当に、病院助手に関しては病院経営課に問い合わせ、正式発令日以降とすること。
- ② 大学院に在学した期間※休学期間は含まない
- ③ 研究生に在学した期間
- ④ 大学の教授、准教授、助教授又は講師の経歴のある者が指導者である病院又は研究所において専任職員として研究に従事し、かつ、本学研究科委員会が適当と認めた期間
- ⑤ 本研究科委員会が前各項と同等以上と認める機関において研究に従事した期間

2 学位申請・授与の流れ

論文博士



3 外国語試験

外国語試験は、学位授与申請者に対する学識認定のために行うものであり、学位論文審査を申請する以前に、この試験を受験し、合格していなければならない。

試験は、毎年8月頃に実施されるが申請の前年までに合格しておくことが望ましい。

(1) 出願受付期間

7月下旬から8月上旬頃

(2) 出願手続

出願者は、次に掲げる書類を教育研修支援課に提出すること。

① 外国語試験受験願書 1部

② 返信用封筒（表に本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、切手（普通料金）を貼付したもの（20.5cm×9cm）、学内者は不要。） 1通

(3) 試験方法等

期 日	科 目	方 法	場 所
8月中旬頃	英 語	筆 答	本 学 内

(注) 日時及び場所の詳細については、公示し各講座等に通知する。

4 学位授与申請

本研究科に論文を提出し、博士の学位を取得しようとする者は、次の事項に留意のうえ手続きをとること。

(1) 申請の時期

随時（9月授与の場合5月・6月、3月授与の場合11月を提出期限予定としているが、早めることもあるので期限については事前に確認のこと。）

(2) 申請先

本研究科長あて提出すること。（教育研修支援課で受付ける。）受付の際に提出書類をチェックし、不備があればその場で補正等を願うので必ず本人が持参すること。

(3) 提出書類

申請に必要な書類は次のとおりである。なお、所定様式については、手引きの様式参照。

①学位論文申請書【1部】

②学位論文【5部】（指導教授の事前指導を受けてから提出すること）

③参考論文3編【5部】

④履歴書【5部】

⑤論文目録【5部】

⑥論文内容要旨【5部】

⑦戸籍抄本【1通】

⑧最終学校の卒業証明書又は卒業証書の写し、

大学院修了者は修了証明書又は学位記の写し【1通】

本学卒業者であって、その医学研究歴が本学に限られる者については省略可

⑨医師免許証を有する者はその写し【1通】

本学卒業者であって、その医学研究歴が本学に限られる者については省略可

⑩研究期間を証する所属長の証明書【1部】

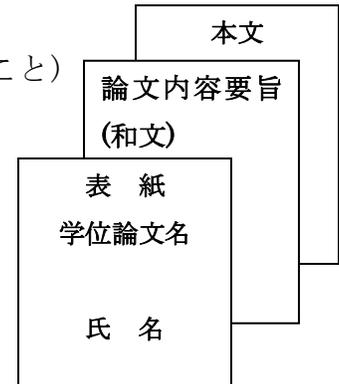
本学卒業者であって、その医学研究歴が本学に限られる者については省略可

⑪参考資料（手引きの様式参照）【5部】

⑫研究協力者の同意書【各1部】

⑬博士論文のインターネット公表（リポジトリ登録）確認書【1通】

全文公表不可の場合には、学位論文要約公開申請書【1通】



Ⅲ 学位論文審査会の方法

学位審査の申請に応じ、医学研究科長が主審査委員1名及び副審査委員2名を指名し、本研究科長から学位論文審査会の開催日時・場所等が申請者に通知される。申請者は、学位論文について研究発表を行い（10分間）、それに対して主査と2名の副査を中心とした質疑応答が行われる（20分間程度）。主審査委員より学外審査が必要との連絡を受けた場合には、医学研究科長の判断により学外審査員を設ける。この場合、主審査委員が学外審査員を選定し、医学研究科長が指名する。審査会において指摘を受けた内容は主査の指示に従って修正を行い、審査員全員の合意を持って終了とする。

なお、学位論文審査会開催日時・場所は、申請者の氏名・学位論文題名と共に本大学院公式ホームページ上で公示される。提出された学位申請論文に不備がある場合は、この限りではない。

開催月：前期6月、7月、後期12月、1月、2月に実施。
日時：原則第1火曜日又は第1木曜日 午前10時から午後5時まで（休憩12時から13時）
場所：第7講義室又は第8講義室で実施
審査会：発表時間10分、質疑応答20分
※公開審査会での審査委員以外の質疑については、主審査委員が許可した場合には原則認めるが、審査委員以外からの質疑で不適切な内容と主審査委員が判断した場合は質疑を打ち切る。
※審査会は公表し、大学院セミナーに該当。

Ⅳ 学位授与

審査の結果は、主審査委員により取りまとめられて審査結果と合否判断が本研究科長に報告され、合格判断が下された場合、本研究科委員会において学位授与の議決が行われる。学位授与判定時に異議が出た場合には、投票を実施し、出席した委員の3分の2位以上の同意を得られた場合には学位を授与する。なお、審査結果は、学位論文と共に、本学学術成果リポジトリにて一般に公開される。

学位授与が可決された場合は、本研究科長が学長に報告し、その報告に基づき学位が授与される。これに伴い学位記授与式（3月期の場合は、大学院修了式とし、学部卒業式と同時に挙げる。）が行われ、学長から学位記が授与される。また、学位授与者は本学大学院公式ホームページ上で公示される。

なお、申請者が、審査結果に納得できない場合には、異議を唱えることができる。この不服申し立ては、教育研修支援課において行い、教育研修支援課では、この申し立てを受理後速やかに研究科長に報告し、研究科長の指名により不服申し立て審査会を開催する。

V 学位論文の公表

法令（学位規則（昭和二十八年文部省第九号））により以下の事項が定められている。

博士の学位を授与したときは、授与した日から三月以内に当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（第8条）

授与された日から一年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。（第9条）

本学大学院公式ホームページでは、これら学術雑誌に掲載された原著論文のリストを本学大学院公式ホームページ上で、大学院での成果として公示する。

ただし、やむを得ない理由と認められる場合は、研究科委員会の承認をえた上で、その全文を要約したものを公表する。

VI 論文作成及び提出書類記入上の注意事項

1 学位論文申請書

本学所定様式を使用し、氏名は原則として戸籍簿等のおりに記載すること。

漢字圏以外の国籍をもつ外国人学生は、在留カードのおりにアルファベットで記載し、ふりがなはカタカナで付すこと。

論文本体の表紙、論文の内容の要旨、履歴書及び論文目録等、学位論文申請手続きに関する全ての書類について、氏名の表記を統一させること。また、この氏名表記は学位記に記載する氏名にも用いられる。

2 学位論文

学位論文は本人の学習・研究成果としての本学出版物であることに留意し、研究内容にふさわしい内容と体裁を持ち、申請者が大学院博士課程の間に行った研究内容が、主指導教員による指導のもとで記述されていること。論文は、英語（「概要」を除く）または日本語で書かれるものとする。申請に提出する学位論文の冊子（5部）は、製本し提出すること。（製本については学術情報センターで作成可能）

その際の表紙には、論文名、所属名、氏名を記載すること。（※表紙作成は記載例を参考）

学位論文で一般的に書かれる項目の例とその注意事項は以下の通り。なお、学位論文がいくつかの内容に分割できる場合には、これらの項目を章ごとに分けて書くこともできる。

課程博士

提出できる学位論文は、申請者を筆頭者として、「PubMed」に収録されている英文雑誌又は「日本医学会分科会」・「福島医学会」の機関誌に掲載された、あるいは掲載予定(雑誌編集者からのアクセプトのメール等を提出すること)の査読制度のある原著論文の内容を主として作成されたものでなければならない。

論文博士

提出できる学位論文は、申請者を筆頭者として、「PubMed」に収録されている英文雑誌又は「日本医学会分科会」の機関誌に掲載された、あるいは掲載予定(雑誌編集者からのアクセプトのメール等を提出すること)の査読制度のある原著論文に基づいて作成されたものでなければならない。

〈項目例〉

- (1) **表題(title)** : 研究の内容を具体的かつ簡潔に示すものとし、英語で書かれた学位論文の場合には、表題の下に () 書で日本語訳を付記すること。なお、表題の中では略語は、医学においてごく一般的に使用されているようなものを除き、使用しないこと。副題を付けることは差し支えない。
- (2) **所属・著者名(name)** : 所属する医学研究科の分野名(課程博士の場合)、あるいは講座・部門名(論文博士)を記すること。氏名は戸籍抄本と一致させること。日本国籍を有さないもの場合は、在留カードと一致させること。
- (3) **概要** : 学位論文全体の内容が、研究に至った背景を含めて、専門分野外の人間にも理解できるように要約されて、日本語で記されていること。別途提出する「論文内容要旨」とは異なり、長さの制約はない。
- (4) **目次(content)** : 全体の構成を分かり易くするために目次をつけることもできる。
- (5) **略語(abbreviation)** : その分野では一般に用いられるものであっても、医学の他分野で普通に使用されているもの以外はすべて記すること。
- (6) **序論(introduction)** : 研究に至った背景、そしてこれまでどのような点が不明であり、それをどのような方法で明らかにすることを目的としたかについて、専門分野外の人間にも容易に理解できるように記述すること。研究背景を簡潔に説明する図表の使用はしばしば理解の助けになる。
- (7) **方法(materials and methods/procedures)** : 本論文に記された研究に用いられたすべての実験、フィールドワークなどにおける方法や条件、および材料・リソースの詳細について、具体的に記述する。ここに書かれた説明を他の研究者が読めば同じ実験を再現できるように書くことが原則である。該当する場合は、動物実験委員会、倫理委員会の承認について明記すること。なお、理解を助けるものであれば図表も用いることができる。
- (8) **結果(results)** : 研究によって得られた結果について、どの点が特に新規かが明確になるように、詳細に記述すること。なお、学位論文は基本的に学習成果のとりまとめなので、主成果にいたるまでの過程で得られた予備的なデータも記すことができる。

また長さの制約はないので、本文で述べられたデータは省略することなくすべてのデータを掲載することが望ましい。

- (9) **考察(discussion)**： 研究結果の解釈を主体として、これまでの当該分野の研究に対して、新たに得られた研究成果の位置づけを行い、今後の展望・可能性について記述する。得られた知見・概念を明確に伝えるために図表を用いることもできる。
- (10) **引用文献(references)**： それぞれの分野で一般的に用いられるスタイルを使用できるが、筆署名、年号、雑誌名、巻数、ページ番号に加えて、論文の題名も入れることが望ましい。
- (11) **図説明(figure legends)**： 研究結果の図の説明として、行った実験条件が可能な限り詳細に記述されていること。概念図の場合は、その意味について説明すること。なお、他の出版物から引用する場合には著作権に留意すること。これらは、必ずしも図と切り離れた場所（引用文献の後ろなど）にまとめて置く必要はなく、速やかな審査のために、該当する図の下に直接挿入することもできる。
- (12) **図(figures)および表(tables)**： 図表は引用文献の後ろにまとめて置かれることが多いが、審査を容易にするために、本文中の該当する箇所（たとえば図1であれば、「結果」の図1と書かれたパラグラフの直後など）に置くこともできる。また、特に写真の場合には、結果で述べられていることが明瞭に読み取れるような高い品質の印刷にすること。なお、表の説明文は、表の上に記すること。
- (13) **謝辞等(acknowledgment)**： 学位論文研究を行うにあたり、共同で作業したり指導を行った人に対して、あるいは、研究費の補助を得ている場合には、その旨を明記し、謝辞とすること。また、必要な場合には、本研究が適切な利益相反マネジメントのもとで行われたものであり、利益相反委員会の承認を得ていることを明記すること。

3 参考論文

- (1) 論文博士の場合、参考論文は、次の全てに該当する論文3編以上を提出するものとし、論文目録に記載した順に綴じ、表紙を付け確実に製本すること。
 - ①申請者が、執筆又は共同研究したもの
 - ②学位論文と関連があり、学位論文を補足するもの
 - ③学位論文作成に至るまでの研究経緯がわかるもの
 - ④研究期間中の研究を、その都度まとめて公表したもの
- (2) 表紙右上に参考論文と表示し、下部に申請者名を記載すること。
(※表紙作成は記載例を参考)

4 戸籍抄本

申請前1か月以内に発行されたもの。

日本国籍を有しない者は、申請前1ヶ月以内に発行された住民基本台帳の写し及び在留カードの写しを提出すること。

5 履歴書（所定様式）

- (1) 記載例を参照すること。
- (2) 学歴は高校卒業以降について、年次を追って記載すること。
(大学は、学部、学科名を記載すること。)
- (3) 研究歴は、「医学研究歴」の各号に該当するものについて記載すること。
(医師免許証の取得年月日、番号を記載すること。)
④⑤に該当する場合、あらかじめ研究科委員会の承認を得た期間のみ算入可能。
- (4) 異動の年月日については、病院助手については病院経営課で確認のうえ、正確に記入すること。(助手については総務課)

6 論文目録（所定様式）

- (1) 記載例を参照すること。
- (2) 論文題名（学位論文・参考論文）が外国語の場合には、和訳を附記すること。
- (3) 公表の方法欄は、共著者名（本人を含む。）、公表誌名、公表年月日のほか、巻番号、ページも記載すること。
- (4) 申請者が学術雑誌・書籍に出版したすべての論文リストのこと。

7 論文内容要旨（所定書式）

- (1) 要旨は、1, 200字以内A4サイズ1ページにまとめること。
- (2) 要旨は、本論文の概要がつかめるよう研究内容を要約すること。
- (3) 日本語で記載すること。
- (4) 図表及び写真は挿入しないこと。
- (5) 申請時に電子データ（Word形式）もメールに添付し提出すること。

8 研究歴証明書

- (1) 履歴書の研究歴欄の記載事項と、一致させること。
- (2) 研究歴は次の期日まで計算すること。
申請書の提出月から最も近い学位授与月（9月30日、3月31日）までの期間
- (3) 月の途中で研究歴が開始又は終了した場合は、1か月として計算すること。
- (4) 医学研究歴が本学だけに限られる場合は提出する必要があるない。
- (5) 研究指導者は、大学の教授、准教授又は講師の経歴を有するものであること。

9 参考資料

倫理委員会、動物実験委員会及び組換えDNA委員会の承認を得た場合は、申請結果通知書や研究計画書等を添付すること。

学位論文審査委員候補者名簿登載の教員の中から希望する審査委員候補者5名を記入すること。ただし、そのうち1名以上は教授から選択すること。なお、主・副指導教員、主指導教員及び申請者の属する講座等の教員、共同研究者、又は申請者の親族は、主審査委員および副審査委員になることができない。

1 0 同意書

学位論文の内容となる学術雑誌に掲載された共著者全員。

故人の同意承諾書の提出は要しない。

1 1 リポジトリ同意書

雑誌等に出版した際のインターネット公表に係る著作権ポリシーを確認し、提出すること。投稿した学術雑誌等の事情により、リポジトリ公表できないやむを得ない事情がある場合は、学位論文要約公開申請書を提出し、審査前に医学研究科委員会で承認を得る必要がある。やむを得ない理由が解消された場合、全文を公表する必要があるため、指導教員と相談の上、教育研修支援課まで申し出ること。差し支えない範囲において可能な限り多くの学術成果をインターネット公表するようにしてください。

①著作権にかかわる図版があるために全文公表ができない場合は、その図版のみ非公開とし、それ以外の部分は可能な限り公表する。

②著作権の使用の不承認があるために全文公表ができない場合は、その旨記述し、それ以外の部分は可能な限り公表する。

③個人情報保護の観点から問題があるために全文公表ができない場合は、その旨記述し、それ以外の部分は可能な限り公表する。

④主論文に含まれる学術論文について、インターネットでの公開に対する学術雑誌または出版済みの書籍の出版社から使用承認が得られないために全文公表ができない場合は、その旨記述し、当該部分の掲載雑誌名、巻号、ページ数等を明記することによって読者の便宜を図るとともに、それ以外の部分は可能な限り公表する。

⑥博士論文の全部または一部が、単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行されるために全文公表ができない場合

(1) すでに出版されている場合は、その旨記述し、刊行された著作の書誌事項を記載することによって、読者の便宜を図る。

(2) すでに出版契約がされている場合も、上記(1)と同様。

(3) 博士論文の一部をこれから刊行する場合は、当該部分にその旨記述して削除のうえ、それ以外は可能な限り公開する。

1 2 特許の取扱いについて

提出された学位論文は、論文審査等の場において発表・公開されるため、研究成果中において特許の出願を予定する内容を含む場合は、必ず、学位申請前に出願を完了させること。出願中または出願を予定している状態で、論文審査等において支障が生じた場合、以降の審査を打ち切る場合がある。

1 3 その他

- (1) 学位審査料（論文博士） 200,000円

教育研修支援課から指定の払込取扱票を受領し、郵便局から納入後、払込受付証明書を申請書に添付する。

ただし、本医学研究科修了予定者が申請する場合又は単位修得者が退学後2年以内に申請する場合は免除する。

- (2) 学位申請の論文は福島医学会において、その要旨を発表すること。
(3) 本学発行の証明書については、福島県立医科大学ホームページで申請様式(Word)をダウンロードすることができる。

<https://www.fmu.ac.jp/univ/gakunai/syoumei.html>

HOME > 学生・教職員（卒業生）の方へ > 各種証明書発行を参照。

- (4) 申請先・問合せ先は教育研修支援課とする。

福島県立医科大学 教育研修支援課医学部教務係（大学院担当）

〒960-1295 福島市光が丘1

電話：024-547-1095、FAX：024-547-1989、E-mail：gakuseik@fmu.ac.jp

VII 記載例等

学 位 論 文

学位論文名

()

論文名が英文の場合は、日本語訳を () 内に付記すること。

福島県立医科大学大学院医学研究科

○○○学分野○○○学講座

福 島 光 一

旧姓利用している場合は、氏（旧姓）名と記載。
以降、氏名の記載を統一する。

公表論文題名、公表誌名、公表年月日、巻番号、ページを記載。

参 考 論 文

- 1 Fujimori K, Kyojuka H, Yasuda S, Fukushima K, Goto A, Yasumura S, Ota M, Ohtsuru A, Nomura Y, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Sato M, Matsui S, Nakano K, Abe M; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Pregnancy and birth survey after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident in Fukushima prefecture. Fukushima J Med Sci. 2014;60(1):75-81.
- 2 Kyojuka H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Fukushima K, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K. The Effect of Maternal Age at the First Childbirth on Gestational Age and Birth Weight: The Japan Environment and Children's Study (JECS). J Epidemiol. 2019 May 5;29(5):187-191.
- 3 野村 真司, 渡邊 尚文, 鈴木 理, 加藤 麻美, 佐藤 哲, 小島 学, 古川 茂宜, 福島 光一, 添田 周, 藤森 敬也. 直腸内膜症から発症したと考えられる未分化子宮内膜間質肉腫の1例. 福島医学雑誌. 2019.12;69(3):197-201.

福島県立医科大学大学院医学研究科

〇〇〇学分野〇〇〇学講座

福 島 光 一

(課程博士)

課程博士

提出日を和暦で記載。

〇〇年〇月〇日

福島県立医科大学長様

記名・押印もしくは署名

現住所 福島県福島市光が丘1

氏名 福島 光一

印

博士の学位授与について（申請）

学位規程第4条第1項又は同条第2項の規定に基づき、下記書類を添え、博士（医学）の学位の授与を申請いたします。

記

- | | | |
|---|----------------------------|------|
| 1 | 学位論文 | 5部 |
| | (参考論文を提出する場合) | (5部) |
| 2 | 履歴書 | 5部 |
| 3 | 論文目録 | 5部 |
| 4 | 論文内容要旨 | 5部 |
| 5 | 参考資料 | 5部 |
| 6 | 戸籍抄本 | 1通 |
| 7 | 研究協力者の同意書 | 各1部 |
| 8 | 博士論文のインターネット公表（リポジトリ登録）確認書 | 1通 |
| | (全文公表不可の場合には学位論文要約公開申請書) | (1通) |

研究協力者：学位論文の主たる内容が学術雑誌に掲載された論文の共著者全員

(論文博士)

論文博士

提出日を和暦で記載。

〇〇年〇月〇日

福島県立医科大学長様

記名・押印もしくは署名

現住所 福島県福島市光が丘1

氏名 福島 光一

印

博士の学位授与について（申請）

学位規程第4条第3項の規定に基づき、下記書類に所定の学位審査料を添え、博士（医学）の学位の授与を申請いたします。

記

1	学位論文		5部
2	参考論文3編		5部
3	履歴書		5部
4	論文目録	学位審査料の郵便振替受付証明書（お客さま用）を裏面中央に発付すること。 振込用紙は教育研修支援課にある。	5部
5	論文内容要旨		5部
6	戸籍抄本		1通
7	卒業証明書	7、8、9について、本学卒業者でその医学研究歴が本学に限られている場合は省略可。行を削除し、それ以降の番号を調整してください	1通
8	医師免許証の写し		1通
9	研究歴証明書		各1通
10	参考資料	研究協力者：学位論文の主たる内容が学術雑誌に掲載された論文の共著者全員	5部
11	研究協力者の同意書		各1部
12	博士論文のインターネット (全文公表不可の場合には学位論文要約公開申請書)		1通 (1通)

履 歴 書

ふりがな 氏 名	ふくしま こういち 福 島 光 一	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	昭和55年 7月 20日	
本 籍	福島県 (都道府県名のみ)	
現 住 所	福島市光が丘1	

学 歴

- 〇〇年3月 福島県立福島高等学校卒業
- 〇〇年4月 福島県立医科大学医学部医学科入学
- 〇〇年3月 同 校 卒 業
- 〇〇年 月 福島県立医科大学大学院医学研究科 専攻入学

現在に至る

研 究 歴

- 〇〇年5月 日 福島県立医科大学〇〇学第1講座病院助手
- 〇〇年5月 日 医師免許証取得、登録番号第 号
- 〇〇年4月 1日 福島県立医科大学〇〇学第1講座大学院研究生
- 〇〇年 月 日 福島県立医科大学〇〇学第1助手

現在に至る

職 歴

- 〇〇年5月 福島県立医科大学〇〇学第1講座
- 〇〇年4月 〇〇〇〇病院 〇〇勤務
- 〇〇年1月 福島県立医科大学〇〇学第1講座助手

現在に至る

学歴及び職歴はその事項の年月まで記載し、研究歴については年月日まで記載する。
 本学の助手に関しては総務課大学人事担当に問い合わせ、確認のうえ記入すること。

論 文 目 録

氏 名	ふくしま こういち 福 島 光 一
学位論文	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #e0f0ff; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">論文題名が外国語の場合には和訳を附記すること。</div>
題 名	外国語 ○○○○○○○○ 和 訳 △△△△△△△
原著論文の公表の方法	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; background-color: #e0f0ff; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">公表誌名、公表年月日、巻番号、ページを記載すること。</div>
Kouichi H, Fukushima	Journal of Medical Science ○○○○年○月○日 ○巻 ○○—○○ページ
参考論文 1 Fujimori K, Kyozuka H, Fukushima K, Yasuda S, Goto A, Yasumura S, Ota M, Ohtsuru A, Nomura Y, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Sato M, Matsui S, Nakano K, Abe M: Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Pregnancy and birth survey after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident in Fukushima prefecture. Fukushima J Med Sci. 2014;60(1):75-81. 2 Kyozuka H, Fujimori K, Hosoya M, Yasumura S, Fukushima K, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K. The Effect of Maternal Age at the First Childbirth on Gestational Age and Birth Weight: The Japan Environment and Children's Study (JECS). J Epidemiol. 2019 May 5;29(5):187-191. 3 野村 真司, 渡邊 尚文, 鈴木 理, 加藤 麻美, 福島 光一, 佐藤 哲, 小島 学, 古川 茂宜, 添田 周, 藤森 敬也. 直腸内膜症から発症したと考えられる未分化子宮内膜間質肉腫の1例. 福島医学雑誌. 2019.12;69(3):197-201.	

参 考 資 料

ふりがな 氏 名	ふくしま こういち 福 島 光 一 <div style="text-align: right;">※戸籍と同じ書体</div>	(男) 女
最 終 学 歴	福島県立医科大学 医学部医学科 ○○年度卒業	
外国語試験合格日	○○年○月○日 (大学院生は不要)	
倫理委員会承認	承認年月日：○○年○月○日 承認(受付)番号 1 2 3 4 5	
動物実験委員会承認	承認番号 該当なし	
組換えDNA委員会承認	承認番号 該当なし	
所 属	○○○○学講座所属	
電話番号・E-mail	0 2 4 - 5 4 7 - 1 0 9 5 ○○○@fmu.ac.jp	

各委員会の承認を得ている場合は、証拠書類を添付すること。

指導教員	○○○ ○○ 印		
(学位論文題名) ○○○○○○○○○	記名・押印もしくは署名		
希望する学位論文審査委員の所属名、職名、氏名			
	所属名	職名	氏名
1	○○○○学講座	教授	○○○ ○○
2	○○○○研究部門	教授	○○○ ○○
3	○○○○学講座	准教授	○○○ ○○
4	○○○○学講座	講師	○○○ ○○
5	○○○○学講座	講師	○○○ ○○

医学研究科委員の分野別主指導教員とする。
寄附講座に所属している場合は、注意すること。

1名以上、教授を選ぶ。
研究及び論文作成に関係した先生は選定できない。

◇研究歴（5年） 研究歴に換算されないものは年数に含めないこと。

〇〇年〇月〇日 福島県立医科大学〇〇学第1講座大学院研究生として入学

〇〇年〇月〇日 福島県立医科大学〇〇学第1講座大学院研究生を退学入学（研究歴3年）

〇〇年〇月〇日 福島県立医科大学〇〇学第1助手に就任（3月31日時点で研究歴2年）

◇現在まで公表した論文があれば以下に記載すること

（公表論文題名、公表誌名、公表年月日、巻番号、ページ）

Fujimori K, Kyojuka H, Fukushima K, Yasuda S, Goto A, Yasumura S, Ota M, Ohtsuru A, Nomura Y, Hata K, Suzuki K, Nakai A, Sato M, Matsui S, Nakano K, Abe M; Pregnancy and Birth Survey Group of the Fukushima Health Management Survey. Pregnancy and birth survey after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident in Fukushima prefecture. Fukushima J Med Sci. 2014;60(1):75-81.

Kyojuka H, Fujimori K, Hosoya M, Fukushima K, Yasumura S, Yokoyama T, Sato A, Hashimoto K. The Effect of Maternal Age at the First Childbirth on Gestational Age and Birth Weight: The Japan Environment and Children's Study (JECS). J Epidemiol. 2019 May 5;29(5):187-191.

野村 真司, 渡邊 尚文, 鈴木 理, 加藤 麻美, 福島 光一, 佐藤 哲, 小島 学, 古川 茂宜, 添田 周, 藤森 敬也. 直腸内膜症から発症したと考えられる未分化子宮内膜間質肉腫の1例. 福島医学雑誌. 2019.12;69(3):197-201.

◇研究協力者一覧（共著者全員分を以下に記載すること。）

NO	所 属	氏 名
1	〇〇〇〇学講座	〇〇〇 〇〇
2	〇〇〇〇学講座	〇〇〇 〇〇

欄が足りない場合は、行を追加して記載

※ ※論文博士のみ

論文博士

研究歴証明書 (学内用)

学位論文提出者氏名 福島 光一

年 月 日	身分 (研究機関名)	期 間
自〇〇年 〇月 〇日 至〇〇年 〇月 〇日	福島県立医科大学〇〇講座助手	〇年〇月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
自 年 月 日 至 年 月 日		年 月
合 計		〇年〇月

本学卒業者であって、その医学研究歴が本学に限られる者は、提出省略可

学位論文提出者 福島 光一 に関する研究歴は、上記のとおり相違ないことを証明する。

〇〇年 〇月 〇日

記載日を和暦で記入

指導教員 〇〇〇 〇〇 印

26

記名・押印もしくは署名

※論文博士のみ

論文博士

研究歴証明書 (学外用)

学位論文提出者氏名 福島 光一

研究機関名	〇〇大学〇〇講座		
身分	助手		
研究期間	<u>〇〇年〇月〇日</u> ～ <u>〇〇年〇月〇日</u>		
研究内容	〇〇〇〇〇について		
研究指導者 ※在職証明書を添付すること	所属	職名	氏名
	〇〇大学 〇〇学講座	教授	〇〇〇 〇〇

学位論文提出者 福島 光一 に関する研究歴は、上記のとおり相違ないことを証明する。

〇〇年 〇月 〇日

記載日

研究機関長の氏名

〇〇大学 理事長 〇〇〇 〇〇 印

理事長の他、医学部長や研究科長でも可

記名・押印もしくは署名

※研究協力者とは学位論文の主たる内容が学術雑誌に掲載された論文、あるいは掲載される予定の論文の共著者全員。

博士論文のインターネット公表（リポジトリ登録）確認書

福島県立医科大学長 様 記名・押印もしくは署名 令和 年 月 日 記載日

(ふりがな) 申請者氏名	ふくしま こういち 福島 光 一 印
連絡先 (学位授与後も連絡可能なもの)	TEL : 080-〇〇〇-〇〇〇〇
	E-mail : 〇〇〇@〇〇〇.co.jp
学位審査論文名	論文名 : 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 (上記論文名が欧文の場合は和訳を記載)
博士論文の全文公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公表可能 <input type="checkbox"/> 年 月 日より公表可能 (理由) <input type="checkbox"/> 公表不可 ・学位授与から1年を超えて全文公表できない場合「学位論文要約公開申請書」を提出してください。 [注意] 公表の可否を確認したうえで記入してください。また、公表の可否が分かる資料 (例: 著作権者からの返答メール) の該当部分にマーカーで色付けして、あわせて提出してください。
主となる内容の公表誌	誌名・巻・号・ページ・発行年 (ページがない場合は doi を記載) <u>Kouichi F.福島医学雑誌 〇〇〇〇年〇月〇日 〇巻 〇〇—〇〇ページ</u>
<備考欄>	
指導教員	申請者の上記内容について誤りがないことを確認いたしました。 〇〇〇 〇〇 印 記名・押印もしくは署名

※注意事項

【リポジトリ公表可否の確認について】

- ・他者が著作権を有する著作物を使用する場合、「博士論文としてインターネットで公表（機関リポジトリで公表）すること」の可否を著作権者に確認してください。自著の使用でも著作権を譲渡している場合は許諾が必要になります。
- ・Creative Commons license で公開されている論文は、ライセンスで許可されている範囲で使用可能です。

【提出する論文データの形式について】

- ・論文はテキストと図表等を結合して1つのPDFファイルとしてください。長期保存の観点からPDFファイルの形式はPDF/Aを推奨します。
- ・データにはパスワードなどのセキュリティをかけないでください。
- ・文字化けを防ぐためにPDFの設定からフォントを埋め込むを選択してください。

以下事務局記入欄

学位記番号 : 甲・乙 第 号 学位授与年月日 : 令和 年 月 日

学術情報センター受領日 : 令和 年 月 日 公開年月日 : 令和 年 月 日

※学位記番号及び学位授与年月日は教育研修支援課が記入する。

※学術情報センター受領日及び公開年月日は学術情報センターが記入する。

学位論文要約公開申請書

記名・押印もしくは署名

令和 年 月 日

福島県立医科大学医学研究科長 様

所 属 ○○学講座

氏 名 福島 光一 印

福島県立医科大学において、学位申請を行い提出した論文の公開について、下記理由により、学位論文全文のインターネット公開に代えて、論文要約のインターネット公開としたいので、申請致します。

記

- 1 学位論文題名
- 2 掲載雑誌名
- 3 学位論文全文を公表出来ないやむを得ない理由

※注意事項

学位授与から1年を超えて全文公表できないやむを得ない理由がある場合に提出してください。提出のない場合は、学位授与後1年以内に全文公開となります。

また、「やむを得ない事由」が無くなった場合には、博士の学位を授与された者は当該博士論文の全文を公表する必要があります。

※学位論文全文を公表出来ないやむを得ない理由について

(24 文科高第937 号平成25 年3 月11 日学位規則の一部を改正する省令の施行等についてより抜粋)

- 1 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含む場合。
- 2 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含む場合。
- 3 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から1年を超えて生じる場合。

学位論文提出書類チェックリスト（課程博士）

課程博士

所属：

氏名：

所定の単位を修得済みである。（共通基盤教育科目 2 単位・発展分野教育科目 1 2 単位）

在学期間を満たしている（※標準修業年限 4 年）

本論文は日本医学会分科会の機関誌又は PubMed 掲載の英文雑誌に掲載済である

No	提出書類	部数	申請者 チェック	事務 チェック	備考
1	学位論文申請書	1 部			<input type="checkbox"/> 正しい申請書の様式を使用している（課程博士の様式使用） <input type="checkbox"/> 氏名・現住所の記載、押印に漏れがない。
2	学位論文	5 部			<input type="checkbox"/> 表紙及び論文要旨（和文）が指定された様式である。 （原則として単著、所属は大学院の研究分野・講座） <input type="checkbox"/> 指定された順序で綴られ製本されている。
3	（参考論文）	各 5 部			※課程博士は必須ではない。
4	履歴書	5 部			<input type="checkbox"/> 記載例に沿って記載されている。 <input type="checkbox"/> 氏名、本籍などは戸籍抄本と合っている。 <input type="checkbox"/> 研究歴の記載に誤りはない。
5	論文目録	5 部			<input type="checkbox"/> 学位論文の和文・英文タイトルと相違ない。 <input type="checkbox"/> 【掲載済の場合】著書名、論文名、雑誌名、巻数、号数、ページ数、出版年が明記されている。
6	論文内容要旨 （電子データ提出）	5 部			<input type="checkbox"/> 1,200 字以内で記載している。 <input type="checkbox"/> 学位論文の和文・英文タイトルと相違ない。
7	参考資料	5 部			<input type="checkbox"/> 指定された様式である。 <input type="checkbox"/> 倫理委員会・動物実験委員会・組替 DNA 委員会の該当する項目の承認番号の記載がある。（承認の必要がない実験の場合には証明できるものを添付している。） <input type="checkbox"/> 希望する論文審査委員の記載欄には学位論文に携わった者はいない。 <input type="checkbox"/> 学位論文の和文・英文タイトルと相違ない
8	戸籍抄本	1 部			<input type="checkbox"/> 申請前一ヶ月以内に発行されたものである。 <input type="checkbox"/> 申請提出書類と氏名、本籍などは相違ない。
9	同意書	各 1 部			<input type="checkbox"/> 共著者又は共同研究者全員分が揃っている。
10	インターネット 公表確認書	1 部			<input type="checkbox"/> 指定された様式である。

学位論文提出書類チェックリスト（論文博士）

論文博士

所属：

氏名：

医学研究歴が満たされている

本論文は日本医学会分科会の機関誌又は PubMed 掲載の英文雑誌に掲載済である

No	提出書類	部数	申請者 チェック	事務 チェック	備考
1	学位論文申請書	1部			<input type="checkbox"/> 正しい申請書の様式を使用している（論文博士の様式使用） <input type="checkbox"/> 氏名・現住所の記載、押印に漏れがない。 <input type="checkbox"/> 学位審査料の払込受付証明書の添付がある。
2	学位論文	5部			<input type="checkbox"/> 表紙及び論文要旨（和文）が指定された様式である。 （原則として単著、所属は大学院の研究分野・講座） <input type="checkbox"/> 指定された順序で綴られ製本されている。
3	参考論文	各5部			<input type="checkbox"/> 要件の全てを満たした参考論文を3編以上提出されている。 <input type="checkbox"/> 参考論文は製本されている。
4	履歴書	5部			<input type="checkbox"/> 記載例に沿って記載されている。 <input type="checkbox"/> 氏名、本籍などは戸籍抄本と合っている。 <input type="checkbox"/> 研究歴の記載に誤りはない。 <input type="checkbox"/> 卒業証明書の記載と相違ない（※本学卒業生は証明書不要）
5	論文目録	5部			<input type="checkbox"/> 学位論文の和文・英文タイトルと相違ない。 <input type="checkbox"/> 著書名、論文名、雑誌名、巻数、号数、ページ数、出版年が明記されている。
6	論文内容要旨 (電子データ提出)	5部			<input type="checkbox"/> 1,200字以内で記載している。 <input type="checkbox"/> 学位論文の和文・英文タイトルと相違ない。
7	参考資料	5部			<input type="checkbox"/> 指定された様式である。 <input type="checkbox"/> 外国語試験合格日の記載がある <input type="checkbox"/> 倫理委員会・動物実験委員会・組替 DNA 委員会の該当する項目の承認番号の記載がある。（承認の必要がない実験の場合には証明できるものを添付している。） <input type="checkbox"/> 希望する論文審査委員の記載欄には学位論文に携わった者はいない。 <input type="checkbox"/> 学位論文の和文・英文タイトルと相違ない
8	戸籍抄本	1部			<input type="checkbox"/> 申請前一ヶ月以内に発行されたものである。 <input type="checkbox"/> 申請提出書類と氏名、本籍などは相違ない。
9	卒業証明書	1部			<input type="checkbox"/> ※該当者のみ 申請提出書類と記載内容に相違ない

10	研究歴証明書	1部			<input type="checkbox"/> 医学研究歴の学内・学外用の記載様式に誤りはないか。 <input type="checkbox"/> 医学研究歴の学内・学外ごとに正しく証明されている。 <input type="checkbox"/> 履歴書の研究歴欄の記載と一致している <input type="checkbox"/> 証明者の指名押印などの漏れはない
11	同意書	各1部			<input type="checkbox"/> 共著者又は共同研究者全員分が揃っている。
10	インターネット 公表確認書	1部			<input type="checkbox"/> 指定された様式である。